



明海大学
編集・発行
企画広報課

Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 北京大学口腔医学院院長、前院長が客員教授に就任
- 3 JAいちかわお米寄贈
- 4 歯学部教員の学会賞受賞多数
- 5 教員採用試験結果
- 6 明海大学の学園祭
- 7 明海スポーツ
- 8 OB・OGから学ぶ業界・職種研究セミナー

学長年頭所感

2024年明海大学の歩む道

学長 中島裕

2024年「甲辰」の新年を迎えました。「甲辰」には「活力旺盛になり大きく成長し、形が整う年」との意味があるそうです。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会、自治体や企業をはじめとして明海大学を支援してくださる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ変更されたことに伴い、インバウンド需要の高まりやコロナ禍で中止となっていたイベントが再開となりました。また、夏の平均気温が統計開始以降最高を記録、そして物価高に翻弄される一年となりました。そのような中で本学においては、海外研修派遣に多くの学生が参加し、協定を結ぶ世界14か国・地域45大学との海外交流が活発となり、建学の精神に掲げる「国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」を具現化するプロジェクトが活性化されました。また、教員らの各学会等での受賞や表彰が多く、これは教員個々の資質・能力の向上の表れであり、今後、より効果的に本学の教育研究の発展につながると考えています。

2024年につきましても、2018年11月に出された中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイ

ン」に基づき「教育研究体制の多様性と柔軟性の実現」や「社会実践教育の充実」などの新たな取り組みを推し進めてまいります。また、「地域社会に開かれた大学」をめざし、各地域との連携強化の一環として地域創生・活性化への取り組みを実施します。併せて大学創立以来、1万8千人超となる外国人留学生の入学実績を躍進させるべく外国人留学生学修サポート制度の充実を図り、更なる国際性の向上に尽力していきます。体育会においては、スポーツ活動を通じて学生の自己実現を図る指導体制を確立し、充実した学生生活を過ごせるようにしてまいります。

歯学部においては、高度先進歯科医療を教育に取り入れると共に歯科医師生涯研修プログラムをさらに充実さ

せ、高い臨床能力と先進歯科医療に対応できる歯科医師を育成してまいります。また、歯学部附属明海大学病院や埼玉、東京、浦安の各PDIでは最新の設備を揃えながら一層の安心安全な医療の提供をめざし、地域医療に貢献に努めてまいります。

本学は、2024年も引き続き、今後の社会を創出する人材を育成し、ステークホルダーの皆様にご満足いただけるような魅力ある大学を確立するべく、外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部、歯学部の6学部8学科そして4大学院研究科の更なる発展を教職員一丸となり実現する所存ですので、お力添えのほど宜しくお願いいたします。



中島裕学長

北京大学口腔医学院院長、前院長が客員教授に就任

北京大学口腔医学院のDeng Xuliang院長とGuo Chuanbin前院長が歯学部客員教授に就任し、11月

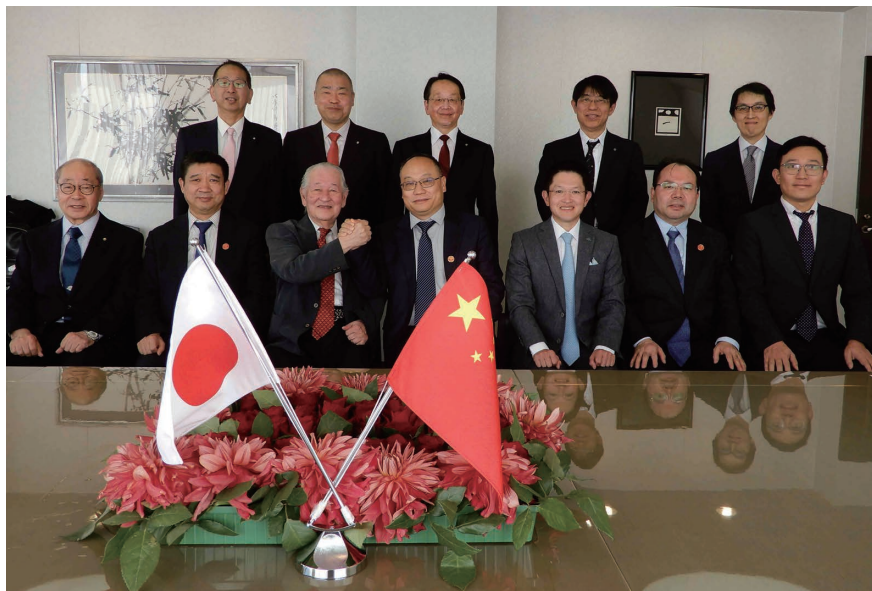
21日、宮田淳理事長から客員教授の称号記が授与された。

本学と北京大学口腔医学院は1984

年に姉妹校の朝日大学と共に学术交流協定を締結し、1994年8月から現在に至るまで約30年間にわたり歯学部における学生間相互交流を行っている。

同日、Deng院長は共に来日中であった、同大学のCai Zhigang副院長、Hu Wenjie 副院長、Li Guotao国際交流室長と東京事務所を訪れ、宮田侑相談役、宮田淳理事長、中畠裕学長、申基喆副学長・歯学部長らと会談。両大学のこれまでの歴史を振り返り、宮田相談役および宮田理事長からは長年にわたって継続する学生間相互交流についての感謝の意が述べられた。

明海大学は北京大学口腔医学院との更なる友好発展を期待し、日中両国の将来へ続く歯科医学領域の発展に寄与していく。



宮田相談役と固い握手を交わすDeng院長(中央)

白井市と包括連携協定を締結

11月22日、明海大学と白井市は、人的または知的資源の交流と物的資源の活用を図り、教育、文化、学術及び歯科保健医療等の分野における連携を通じて相互の発展を目的に「包括連携に関する協定」を締結した。白井市役所で行われた締結式には、白井市の笠井喜久雄

市長や中畠裕学長をはじめ、藤内副学長・保健医療学部長らが参加した。

中畠学長は「本学は教育研究の一環として、各学部の特性を生かした様々な地域貢献活動を行っています。白井市とのつながりもこの地域貢献活動の中から生まれたものであり、10月に

行われた『白井市ふるさとまつり』において保健医療学部生による口腔機能測定のを機会をいただいたことが始まりです。この白井市の健康づくりに関する連携事業にとどまらず、地域の発展のため、共同支援事業の実施および学術研究等をはじめとした包括的な連携の構築し、更なる地域貢献の強化をしてきます」と挨拶をした。

～ 明海大学と白井市との包括連携に関する協定 ～

(目的)

地域の課題に適切に対応し、地域社会の発展と人材教育に寄与することを目的とする。

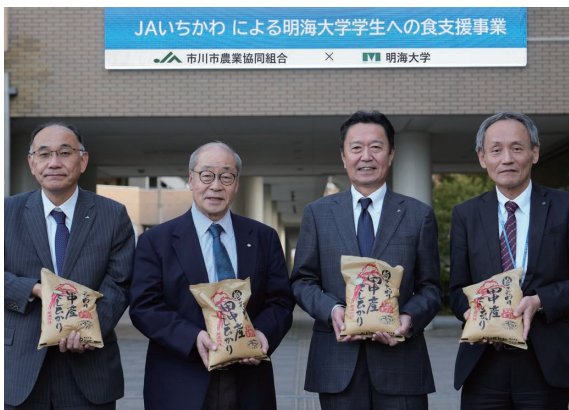
(連携協定事項)

- 人材の育成に関すること
- 地域文化・スポーツの振興に関すること
- 地域産業の振興に関すること
- まちづくりに関すること
- 学術研究に関すること
- 歯科保健医療を通じた総合的な健康づくりに関すること
- その他、必要な事項に関すること



中畠裕学長(左)と笠井喜久雄白井市長(右)

JAいちかわから千葉県産新米1トンを寄贈



写真左から中村宏JAいちかわ常務理事、中嘉裕明海大学学長、高津吉和JAいちかわ副組合長、中山浩之明海大学事務局長

11月16日、市川市農業協同組合（以下、JAいちかわ）から千葉県産の新米1トン（2kg×500袋）が寄贈された。本学とJAいちかわは、昨年4月に包括連携に関する協定を締結、8月には外国語学部

の学生がJR西船橋駅で特産の梨の販売に携わる

など、学生の援農ボランティアなどで連携を深めている。今回寄贈された新米は必要としている学生たちにしっかり行き渡るように11月末から段階的に配布が開始され、食支援の一環として活用されている。

本学は今後も農業分野のみならず金融事業、共済事業、資産管理事業などの幅広い分野においてJAいちかわと連携、協力し産業界の発展へ寄与していく。

浦安キャンパス学生ランチ支援ウィーク

12月4日から12月8日までの期間、浦安キャンパスにおいて「学生ランチ支援ウィーク」として手作りパン3個セット（100円）の販売を実施した。物価高騰等の厳しい中で頑張る在学生への食支援の一環として浦安キャンパス教育後援会が主催。販売したパンは、学園祭への出店やオープンキャンパスの来場者用ランチなどでお世話に

なっている浦安市で人気の「社会福祉法人佑啓会ふる里学舎」様にご協力いただいた。

販売には山崎康弘浦安キャンパス教育後援会会長も参加し、販売を予定していた1日500個を連日完売する大盛況となった。購入した学生たちからは「手作りパンの優しい味にお腹も心もほっこりした」「大学に行く楽しみ



パンの販売をする山崎会長と購入した学生が増えるので、ぜひまた企画してほしいなどの声が聞かれた。

歯学部交換研修プログラム | 世界3か国4校からの研修生が来学



付属病院を見学するシエナ大学の研修生

歯学部では国際未来社会で活躍し得る歯科医師を育成するため、海外協定校との相互交流に力を入れている。中でも交換研修プログラムは大きな特色のひとつ。学生のうちから諸外国の歯科医学の現状を学ぶこ

とができる海外研修制度を設けるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムとなっている。

11月から12月にかけては中国、イタリア、メキシコの協定校4校から研修生を受け入れ、交流を図った。研修

生らは付属病院の見学や本学教員による講義を受講し、

日本の歯科医療の現状への理解を深めた。また、昼には教職員らによる歓迎パーティーが開催され、和やかに懇談する姿が見られた。研修期間中は、今年8月に各大学で行われた研修に参加した本学学生が世話役を務めており、学生同士の交流も活発に行われ、実りある研修となった。

国名	大学名	日程	人数
中国	空軍軍医大学	11/15~18	研修生5名、インストラクター2名
	北京大学口腔医学院	11/23~25	研修生4名、インストラクター2名
イタリア	シエナ大学	11/26~29	研修生2名、インストラクター1名
メキシコ	メキシコ州立自治大学	12/10~14	研修生10名、インストラクター2名

歯学部教員の学会受賞多数

第82回日本矯正歯科学会学術集会にて受賞

11月1日から3日に朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで開催された第82回日本矯正歯科学会学術集会にて、藤本航大助教(歯科矯正学



藤本助教



真野准教授

分野)が日本矯正歯科学会優秀論文賞、真野樹子准教授(歯科矯正学分野)が優秀演題賞をそれぞれ受賞し、表彰された。これらの賞は日本矯正歯科学会より、我が国における歯科矯正学の教育・研究の進歩発展や矯正歯科医療の充実に優れた功績が認められた者に授与される。

■藤本航大助教 <優秀論文賞受賞>

受賞演題「Relation between masseter muscle volumes and mandibular body lengths in skeletal Class III adult female cases without severe mandibular asymmetry」

■真野樹子准教授 <優秀演題賞受賞>

受賞演題「早期顎裂閉鎖における骨髄移植の有効性」

日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会にて受賞

11月11日にアクトシティ浜松で開催された日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回)で、加藤邑佳助教(保存治療学分野)がカボデンタル優秀ポスター賞を受賞した。また、加藤助教は「オルガノイド培養システムとレーザー照射を用いた新しい歯髄保存治療法の開発」で鈴木謙三記念医療科学応用研究財団令和5年度調査研究助成金にも採択されており、今後のさらなる活躍も期待される。

■加藤邑佳助教 <カボデンタル優秀ポスター賞受賞>

受賞演題「ラット脛骨を用いた注水機能を備えた炭酸ガスレーザー照射による骨形成に及ぼす作用」



加藤助教(左)と横瀬敏志教授

経済学部 高橋義明教授

第43回日本消費者教育学会全国大会で「研究奨励賞」受賞!

10月7日・8日に開催された「第43回日本消費者教育学会全国大会」において、経済学部の高橋義明教授(行動経済学)が「研究奨励賞」を受賞した。「研究奨励賞」は、消費者教育の発展に資することを目的に「日本消費者教育学会」における消費者教育に関する優れた研究を行った方に贈られる。高橋教授から今回の受賞について「本奨励賞は西村隆男先生、花城梨枝子先生、御船美智子先生、中原秀樹先生などお世話になった先生方が受賞されている由緒ある賞です。今回の受賞は「消費者教育へもっと貢献

を」との叱咤激励と感じ、消費者市民社会の構築に貢献できる研究を続ける決意を新たにしたところで」との喜びの声が聞かれた。

高橋教授は、経済学部において「行動経済学Ⅰ・Ⅱ」や「データサイエンスⅠ・Ⅱ」等の授業科目を担当され、3・4年生のゼミ「専門ゼミ1・2」では、データ分析・評価に基づき社会の課題を発見・分析する研究を行い、外部機関主催の研究プレゼン大会に参加するなど、社会で広く求められる調査・分析の重要なスキルの育成に日々尽力されている。



「研究奨励賞」を受賞した高橋義明教授

2023年度教員採用試験に過去最高24人が合格!

2023年度に行われた教員採用試験に、本学の学生と卒業生24人が合格した。本学では、1990年から外国語学部で中学校と高等学校の国語、英語、中国語の教員免許状を取得することができる教職課程を設置して教員養成に力を入れ、多くの優れた教員を社会に送り出してきた。こうした取り組みをさらに推進するため、2016年に「教職課程センター(METTS)」を設置し、免許状の取得に必要な教職課程の履修、教育実習、教員採用

試験、赴任後に求められる授業実践力など、教職に関する様々な課題をトータルにサポートしている。センターの設置から7年目にして過去最高の実績を挙げる事ができた。

千葉県教員採用試験の中学校・高等学校(国語)に合格した橋口和希さん(日本語語学科4年)は「教員になりたいと思い明海大学に入学し、METTSで勉強に励んできました。熱心にご指導くださった先生方、いつも支えてくれた教職課程の仲間には本

当に感謝しています。二次試験前日もオンライン勉強会をするなど、最後までやりきって無事合格できました」と喜びを語った。



METTSの様子

あけみ英語村



輪になって屋外でアクティビティ

明海大学の教職課程センターでは、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村2023～小学生異文化交流プロジェクト～」を主催している。小学生に英語教育と異文化交流の機会を提供するとともに、本学の教

在學生と小学生が英語で交流

職課程を履修している学生にとっては、教育の現場を体験することで、より深く教育について学ぶきっかけとなっている。

10月24日に足立区立島根小学校、11月6日に足立区立花畑第一小学校を対象に開催した。島根小学校からは4年生86人、花畑第一小学校からは6年生58人が参加し、本学の外国人留学生と英語を使ったコミュニケーションや異文化交流を楽しんだ。

英語コミュニケーションは、本学のPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授が担当。身体を動かしながら英

語で「夏休みの過ごし方」を聞くアクティビティでは、小学生の緊張もほぐれて笑いながら話す様子が見られた。

足立区とは、これまでも本学外国人留学生と小・中学生との交流会を継続的に開催し、生徒たちの英語学習に対する興味関心が高まるとともに、異文化理解が深まるなど、高い教育成果を上げてきた。

明海大学は、今後も足立区と連携した様々な取り組みを通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成にも貢献していく。

保健医療学部 口腔保健学科

卒業研究成果発表会

11月2日、保健医療学部口腔保健学科の卒業研究成果発表会が浦安キャンパスで開催された。

口腔保健学科では、研究者としてのリサーチマインドや問題解決能力を身につけること、医療専門職としての自律的な姿勢を培うことを目的に卒業研究の実施および卒業論文の執筆を必須としている。学生それぞれが4年間の集大成として、

これまでの学びの中から問題提起をして研究テーマを設定し、研究計画の立案、調査や実験、その結果の分析や考察を行い、卒業論文にまとめ上げる。

研究成果発表会は論文完成前の最終発表の機会、4年生全員が参加して約1年間をかけて実施してきた研究成果をまとめたプレゼンテーションを行った。発表後の質疑

応答では聴衆の学生や教員から疑問点や理解を深めたい事柄について様々な質問が投げかけられ、活発な議論が交わされるなど、卒業論文執筆に向けて研究をブラッシュアップする機会となった。



成果発表をする口腔保健学科4年生

第53回 けやき祭

10月7日および8日、坂戸キャンパスにおいて、「第53回けやき祭(学園祭)」が開催された。新型コロナウイルス感染症が2類感染症相当から5類感染症へと引き下げられたことにより、5年ぶりに一般来場者を迎える開催となった。今年のテーマは「～Reborn～復活」として、各部活・同好会による作品展示やステージ発表のほか、人気お笑い芸人による「お笑いライブ」が開催され、多くの参加者で会場は賑わった。

また、歯学部ならではの企画で、骨密度測定体験や歯科材料を使って自身の手の型を取る体験ブースでは多くの参加者が訪れた。



歯科材料による体験
(坂戸キャンパス)

第36回 明海祭

浦安キャンパス学園祭「第36回明海祭」が11月3日および4日、浦安キャンパスにおいて開催された。今回のテーマ「Bloom」には、コロナ明けの開放感とともに、明海祭を通じてこれからの学生生活を華やかにしていきたいという思いが込められている。今年、学生団体による模擬店



吹奏楽部による模擬店
(浦安キャンパス)

出店やステージ発表が多く行われたほか、今年で6回目となるbayfmの人気ラジオ番組「あしたの音楽」と吹奏楽部、ジャズ・オーケストラ部、ダンスサークルRabbitとのコラボレーション企画が番組公開収録として行われた。

そのほか、4年ぶりに浦安キャンパスでも「お笑いライブ」が開催され、多くの参加者で会場は賑わった。

浦安キャンパス 公開講座開催!

「浮世絵からタイムスリップ～お江戸の謎解き～」

11月4日、浦安キャンパスにて以前にもご講演いただき大変好評だったボストン美術館とNHKプロモーションの共同制作・浮世絵デジタル化プロジェクトの日本側責任者(2003-2016)である牧野健太郎氏を講師に迎え、公開講座「浮世絵からタイムスリップ～お江戸の謎解き～」を定員400人の満席で開催し、大変な盛会のうちに終えることとなった。

今回は、世界各国で「ウキヨエ・コード」と評された「浮世絵の読み解き」を令

和版として講演し、世界に愛され美術品としても名高い「浮世絵」を葛飾北斎や喜多川歌麿、歌川広重、歌川国芳たちが描いた浮世絵版画から、まるで「謎解き」のように、江戸に生きた人たちの日々の生活や知恵、優しさを解説。そして、製作技術からは遊び心や粋まで現代のデジタル技術で画像を拡大して読み解くという大変興味深い内容だった。(後援:浦安市教育委員会)

本学では、地域社会との交流や学

術・研究成果の還元を目的として、社会の関心が高く本学教員の研究領域とも関連する分野を中心に公開講座を開設している。



公開講座の様子

東武越生線川角駅「学園口」オープニングセレモニー



オープニングセレモニーで
テープカットする中島学長

11月17日、坂戸キャンパスの最寄り駅である東武越生線川角駅に新しい改札

口「学園口」が誕生し、それを記念してオープニングセレモニーが執り行われた。

川角駅は周辺に複数の大学や高校があり、生徒や教職員の利用が多く、路線の中では一番の利用客数を誇る。そのため、長らく、踏切待ちをすることなく駅利用ができる南側の改札口が望まれていた。今回、本学、城西大学および日本医療科学大学の3大学が改善を働きかけ、東武鉄道がそれに応えるか

たちで実現した。これにより、駅利用者の利便性が向上しただけでなく、地域住民の安全にも寄与することとなった。

オープニングセレモニーには本学中島裕学長のほか、城西大学・城西短期大学の藤野陽三学長、日本医療科学大学の 新藤博明学長、井上健次毛呂山町長、東武鉄道株式会社鉄道事業本部眞島朗副本部長らが参列した。

当日はあいにくの天気となったが、念願の新改札が無事利用開始となり、関係者からは笑顔が見られた。

明海スポーツ

MEIKAI
SPORTS

輝かしい戦績を残す!

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会女子バレーボール部

第70回秩父宮妃賜杯全日本大学女子選手権大会でベスト8の結果を残す!

11月27日から12月3日にかけて行われた「第70回秩父宮妃賜杯全日本大学女子選手権大会」(以下、全日本インカレ)で女子バレーボール部がベスト8の結果を残した。

初戦の九州共立大学に3-0、続く2回戦は至学館大学に3-0のストレートで勝利し、順調なスタートを切った。

ベスト8をかけた戦いは、2023年第42回東日本バレーボール大学選手権大会王者の強豪、日本体育大学と対戦。フルセットの激闘を制し見事3-2で勝利し、ベスト8を決めた。

準々決勝では、東海1部リーグ優勝の強豪、岐阜協立大学と対戦し、フルセットまでもつれる試合であったが、2-3で惜しくも敗戦。しかし、昨年同大会でベスト16、そして今年はベスト8の素晴らしい結果と明海大学の名を全国大会で残した。

なお、女子バレーボール部は2023年

度関東大学バレーボール秋季リーグ2部では全勝で優勝し、1部昇格戦に出場したが国士館大学にフルセットの末2-3で敗退し、2部リーグ残留となっている。

キャプテンの松本夏保選手(日本語学科4年/東京高校出身)は、「日頃から体育会女子バレーボール部の活動にご尽力いただきありがとうございます。活動に携わっていただきました全ての方々に感謝申し上げます。全日本インカレの準々決勝での敗戦はとても悔しかったです。全ての試合を通して、チーム力が上がったこと、関東1部の所属大学に勝利できたことは私達の成長だと思

ますし、今までの練習の成果を出すことができました。次の代の後輩達には、全日本インカレで得た自信と悔しさを忘れずに、さらに強くなってほしいです。今後とも体育会女子バレーボール部の応援よろしくお願いいたします」と語った。



強豪、日本体育大学に勝利した瞬間



ベスト8を決めた女子バレーボール部

体育会空手道部

第67回全日本大学空手道選手権大会において体育会空手道部が男子団体組手で5位入賞!



試合の様子(左:丸石絢斗選手)

11月19日、日本武道館において第67回全日本大学空手道選手権大会が開催され、体育会空手道部が全国5位入賞の結果を残した。初戦は、関西学院大学に5-0、2回戦では金沢星稜大学に3-0、3回戦では大阪商業大学に3-0と見事な勝負強さを発揮し順調に勝利を収めてきた。そして準々決勝では惜しくも近畿大

学に2-3で敗れてしまったものの、5位入賞という輝かしい結果を残した。

主将の丸石絢斗選手(不動産学科3年/開新高等学校出身)は、「昨年、この場所で敗れた近畿大学にリベンジしたかったが1歩届かなかったことが悔しいです。しかし、強豪校との試合では、最後まで集中力を切らさず試合に臨むことができました。来年こそ、後輩たちがこの全日本の頂点に立ってくれるはず。これからより良い結果が得られるよう、チーム一丸となって稽古に励んでいきたいです」と語った。



メモを取りながら話を聞く学生たち

11月9日、浦安キャンパスの30周年記念館学生ホールにて「OB・OGから学ぶ業界・研究セミナー」が開催され

OB・OGから学ぶ業界・職種研究セミナー

た。本セミナーは学部3年生を対象としており、本学卒業生（OB・OG）が勤める企業が参加し、各業界や会社概要などを説明いただくイベントとなっている。今回は14社の協力があり、会場には来春に就職活動を控える多くの学生が詰めかけた。学生たちにとっては、企業の担当者から話が聞けるチャンスだけでなく、OB・OGから直に

就活時の話を聞くこともできる貴重な機会となった。着席できないほど盛況なブースもあり、参加した学生たちは真剣にメモをとったり質問をしたりと、積極的に取り組んでいた。参加した学生からは「卒業生の方から直接話を聞くことができ、自分の将来の姿がイメージしやすく、有意義な時間でした」といった声も聞かれた。

2024年度入学試験日程一覧

■浦安キャンパス 外国語学部／経済学部／不動産学部／ホスピタリティ・ツーリズム学部／保健医療学部

入試区分名		出願期間	試験日	合格発表日
一般選抜	統一試験	1月 5日(金) ～ 1月18日(木)	2月 1日(木)	2月 9日(金)
	A日程		2月 2日(金)	
	全学科		2月 3日(土)	
	B日程	2月 8日(木) ～ 2月19日(月)	3月 1日(金)	3月 8日(金)
大学入学共通テスト利用選抜	A日程	1月 5日(金) ～ 1月18日(木)	1月13日(土)・14日(日) (大学入学共通テスト)	2月 9日(金)
	B日程	2月 8日(木) ～ 2月19日(月)		3月 8日(金)
	C日程	2月22日(木) ～ 3月 6日(水)		3月18日(月)

●お問い合わせ先 浦安キャンパス入試事務室 TEL:047-355-5116

■坂戸キャンパス 歯学部

入試区分名		出願期間	試験日	合格発表日
一般選抜	統一試験※	1月 5日(金) ～ 1月18日(木)	2月 1日(木)	2月 9日(金)
	A日程	1月 6日(土) ～ 1月17日(水)	1月23日(火)	1月29日(月)
	B日程	2月 5日(月) ～ 2月19日(月)	2月25日(日)	2月29日(木)
一般選抜 (共通テストプラス方式)	A日程	1月 6日(土) ～ 1月17日(水)	1月23日(火)	2月 9日(金)
	B日程	2月 5日(月) ～ 2月19日(月)	2月25日(日)	2月29日(木)
大学入学共通テスト利用選抜	A日程	1月 6日(土) ～ 1月17日(水)	1月13日(土)・14日(日) (大学入学共通テスト) 1月23日(火) (面接試験)	2月 9日(金)
	B日程	2月 5日(月) ～ 2月19日(月)	1月13日(土)・14日(日) (大学入学共通テスト) 2月25日(日) (面接試験)	2月29日(木)
	C日程	2月27日(火) ～ 3月 9日(土)	1月13日(土)・14日(日) (大学入学共通テスト) 3月16日(土) (面接試験)	3月22日(金)

※歯学部の統一試験会場は、浦安キャンパスとなります。

●お問い合わせ先 歯学部入試事務室 TEL:049-279-2852

詳細は必ず入学者選抜試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。 <https://www.meikai.ac.jp>

